

県民の森だより

「今月の行事より」

落葉の森観察会 11/3

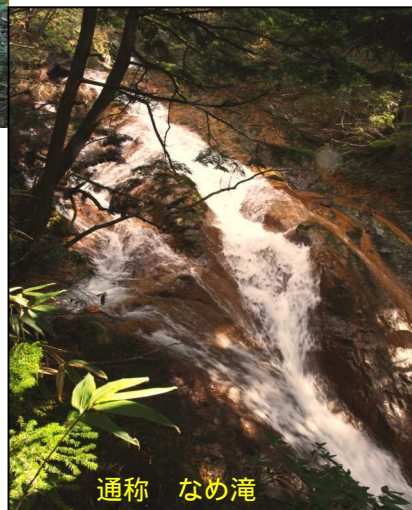


一服峠だよ



山では遅く始まって早く終わった今年の紅葉。どうも一斉に紅葉したのではなく、樹木たちはバラバラに紅葉して散っていった感じがします。県民の森七滝からちょっと足を延ばして、落葉した一服峠の先まで散歩しました。

県民の森から岩手山登山道、七滝コースをたどり、七滝分岐から少し登ると一服峠に着きます。途中はブナの二次林。ほぼ純林です。落葉の厚く積もった坂道を慎重に進めば景色は一変。コメツガやゴヨウ松、アオモリトドマツまで混在する幽玄な原生林が現れます。その昔、古代の岩手山から流れ下った溶岩流の一部が露出し、七滝に代表される沢山の滝を落とす焼切沢は、もともこの溶岩流を削って出来た溪流とか。その川床は赤く染まり、かつての噴火の激しさを知らせてくれているかのようです。



通称 なめ滝

岩手県 県民の森管理事務所



〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail forest@kenminnomori.com

Access アクセス

開館時間 9:00~16:00
休館日 毎週火曜日 (ただし、祝祭日の場合は翌日)
駐車場 第1駐車場 20台 (身障者、大型用駐車場あり) 第2駐車場 約50台



広葉樹の伐採は重心やツルの取り方などの見極めが重要(上)座学ではしっかり理論を学習(右)



基本と
の積み重ねが大切
掛かり木の
理は危
が一杯

今年度は年4回の講座

- 第一回** 6月19日(日) 18名参加
チェンソーの構造・正しい使い方・チェーンの目立て
ノコギリとナタの正しい使い方
- 第二回** 8月20日(日) 12名参加
安全な伐木作業・森を調べる林分調査の仕方
ロープの結び方・使い方
- 第三回** 10月23日(日) 10名参加
掛かり木の倒し方・補助具の使い方
玉切り・枝払いの仕方・集材の仕方
- 第四回** 11月6日(日) 20名参加
雑木林の手入れ・広葉樹の倒し方・ナタの研ぎ方
チェーンの目立て・おさらい

講師陣は「NPO法人いわて森林再生研究会」
会員164名。来年で結成10年をむかえます。ボランティア
で森林整備を行うと共に、1年間に渡る新人研修会を開催す
るなど安全作業の啓蒙も行っています。代表 斉藤文男氏

県民の森の 森林整備講座

より安全に・より確実に

労働災害で最も死亡事故が多いのが林業だと言われています。その中でも樹木の伐採時の事故が後を絶ちません。「なれによる油断」や「知識不足」「誤った作業」などがその原因です。

家で1本の木を切る場合も、業務で100本切る場合も危険は同じ。危険を回避するための正しい作業が求められます。

県民の森では、今年度の継続事業として「森林整備講座」を開催してきました。その内容の一部を紹介します。



時にはロープを使って

こちら丸太切り

八幡平紅葉まつりで大歓声



10月15~16日、八幡平紅葉まつりが県民の森駐車場で開かれ、丸太切り大会も開催。参加したみなさんは初めての体験に悪戦苦闘。声援と大きな笑い声が会場に響きました。



県民の森散策スポット

県民の森の散策スポット。今回は七滝コースにも数箇所残る「炭焼窯跡」。人々の里山を利用した生活が偲べれます。

炭焼窯跡

七滝コース等の山林内
林床に残る地面の窪地

岩手山のすそ野一帯は、かつて炭焼きが行われていました。営林署から国有林の払い下げを受け、山に入り窯を作り周辺の木を切って焼くのです。窯は何回も使う石窯（近隣では鞍掛山に跡があります）と、ほぼ使い捨ての窯です。県民の森の山中には、写真のような炭焼窯の跡が何箇所も見られ、七滝コースの途中では道端に見ることができます。

炭焼のために一度伐採された林には、やがて二次林が形成され、再び炭を焼くことが出来るようになります。人々は、このように上手に山林を利用しながら、生活を営んでいました。こうした山は「里山」と呼ばれ、炭焼以外にも薪や草・落葉・山菜など、暮らしの中に無くてはならない山だったのです。



伐採後はミズナラやカエデの二次林が成長

県民の森行事予定

クリスマス会

12月11日(日)

12時50分~15時

学習館集合 子供1人500円



今年も、学習館の玄関にはクリスマスツリーが、子供たちをお待ちしています。もちろんハチマンタイラーも来ますよ。定員50名。

ミニ門松作り

12月23日(金・祝)

9時30分~14時

学習館集合 会費3000円



小さいながらも本格的な門松を作ります。もちろん家の玄関前に飾ることができます。定員30名。人気のイベントです。お早めにお申し込みを。

木工教室

12月18日(日)

干支作り 1000円

円

1月21日(土)

おひなさま 1000円

いずれも9時30分~15時

30分・定員10名・1週間

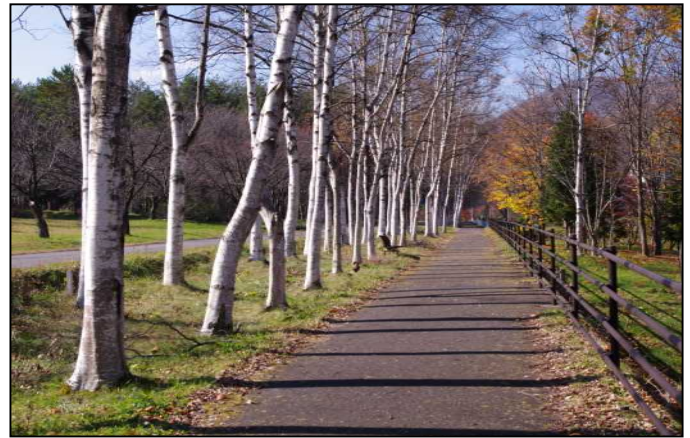


写真はイメージです

県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品で、今回は「トモエソウ」です。

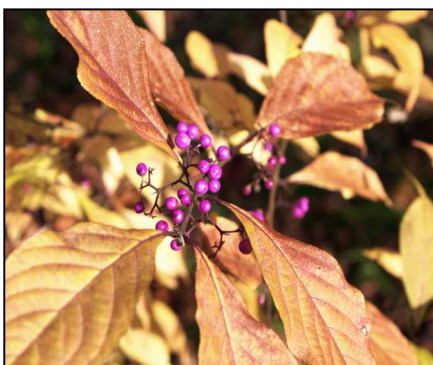


森の中はいま

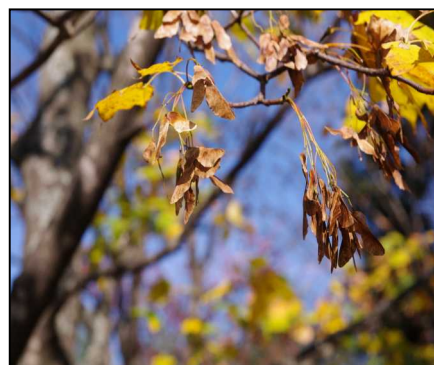
あっという間に錦絵の世界も終わり、県民の森にも冬の足音が。木漏れ日の中にほんの一瞬、キラリと輝いた植物たちの姿です。



黄から赤へとお化粧直し、ひと足遅れた最後の紅葉です



ムラサキシキブは雅な紫色に



イタヤカエデの種子は風を待ちます



オオウバコリは種飛ばしの真最中

サフランさんごめんね

県民の森七滝の展望広場「七滝園地」にイヌサフランを植えた人がいます。自然公園内には許可無く植栽することは禁じられていますので、駆除しました。

編集後記

刻一刻と変わる晩秋の風景。このおたよりがお手元に届く頃は、晩秋から初冬のたたずまいに変わっていることでしょうか。葉っぱが落ちて、草花が枯れて無くなっても、植物たちの冬の営みが見られます。どうぞ足をお運び下さい。